

# 輝け！シン尾花沢中

# 心ゆたかに たくましく 理想をうたう わが学園

第117号  
令和7年  
10月31日

## 尾花沢を盛り上げ隊！①～第2回絆リレーマラソン交流大会～

10月26日(日)、尾花沢市運動公園で第2回絆リレーマラソン交流会が開催され「伊藤家秋保家」「Blue sprint」チームの一員として尾中生が出場しました。

「つながる笑顔」「広がる元気」をキーワードに、地域の活性化を図って行われた本大会。小雨の降りしきる中12チーム、約100名がたすきをつなぎ、100分間で走った距離を競い合いました。以下、尾中生の声を紹介します。

伊藤 はやて 風さん（1年）：僕は、もっとみんなと絆を深めたいと思い、この大会に出場しました。雨が降っていて寒い中でしたが、完走することができて、仲間とより絆を深めることができました。小学1年生から大人の方まで、幅広い年代の方が参加し、共に励まし合い頑張っていました。最後には「楽しかった」や「がんばった」などの言葉が聞こえていてよかったです。地域が明るく元気になる大会で、来年も参加しようと思いました。

渡辺 心優さん（1年）：去年も参加して地域の人たちを元気  
にすることことができたことがうれしくて、去年よりももっと元気にしたい、という想いで参加しました。当日は、みんなと協力し合いサポートし合いながら参加することができました。地域の人々からの応援があったからこそ、たすきをつないで完走することができたのでうれしかったです。他にも、ティラノサウルスの着ぐるみを着て走る競技にも参加して、地域の人たちから「かわいい」「おもしろい」などの言葉をもらったことがうれしかったです。地域の人たちの笑顔を見てることができて、元気を与えることができたと思うし、自分も元気を与えられ、参加してよかったです。

青木 希龍さん（1年）：僕は、絆リレーマラソンで仲間と一緒に100分間にタスキをつなぐことができとてもよかったです。ただ、走る前にみんな元気だったのに、走った後にあまりにも疲れすぎてびっくりしました。絆リレーマラソンに参加して、練習が足りないことが分かったので、来年の地区中学校総合体育大会に向けて、もっと頑張りたいと思いました。楽しかったです!!

次号では、3年生5名の声を紹介します。

【文責：校長 工藤雅史】